

目標1：環境にやさしく資源を有効に活用する循環型社会を目指すまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)

市民1人1日当たりのごみ排出量 500g

リサイクル率 25.0%

※令和2年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア エコライフスタイルの実践

項目	取り組み	主体	取り組み（行動） 内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) エコ を 意 識 し な が ら 生 活 す る ラ イ フ ス タ イ ル の 実 践	エコライフ たきかわ(通 称：エコた き)	市 民 事業者	◆新たな市民運動 「エコライフた きかわ」に参加 し、その取り組み を実践します。	【令和2年度の新たな取り組み実績】 ◆「環境学習リーダー」及び令和元年度まで國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担 っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が保育所園 児及び小学生に環境教育を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送った。 【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育 所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした 環境教育を実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、 （公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保 育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部!」（以下、「エコ部!」という。）並びに滝川高校科学部と 連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会で、エコドラ イブの講習会を実施 ◆空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会の実施並びにエコドライブに特化し たメールマガジンの配信 ◆北海道と連携した滝川市リサイクルフェアでのエコドライブシミュレーターによるエコドライブの推進 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タク シー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした ◆市内全保育所、空知自動車学園、市立図書館と連携した「エコドライブ」啓発ぬりえ展示の実施（同時 にクールビズ、ウォームビズ啓発展示も実施） ◆北海道新聞空知版（発行数63,000部）への啓発記事掲載 ◆「エコたき」啓発を目的とした、市内線バスへの広告掲出 ◆「COOL CHOICEでエコたき」をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車、市内公共施設 に掲示し、「エコライフたきかわ」への参加を促した	【評価】 ◆平成28年度から令和元年度までは環境省の補助事業を活用 し、環境学習リーダーを養成してきたが、補助事業終了後も 滝川市独自で取り組みを進めていたことを評価する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送 ったことは止むを得ないと考えられる。 今後は実施できるように進めていただきたい。 【課題】 ◆「エコたき」については、学校などは認知が高いものの、市 民全体に認知されていない。 今後も継続的に「エコたき」普及していくことが必要。 ◆滝川市の1人1日当たりのごみ排出量は、ごみの分別方法の見 直しや啓発活動などの取り組みにより減少傾向にあるが、国 や北海道のごみ排出量を上回っている。 社会情勢の変化に伴い、プラスチックごみ分別など収集形態 も変更が考えられることから、ごみ減量と併せて検討する必 要がある。

項目	取り組み	主体	取り組み（行動） 内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
				◆市内タクシー会社3社の協力による、「エコたき」啓発ステッカー掲出 ◆滝川市公用車への「エコたき」啓発ステッカー掲出 ◆滝川市リサイクルフェアでの「エコたき」チラシの配布並びにポスターの展示 ◆プレス空知と連携した啓発記事の掲載 ◆FMG ‘Skyによる啓発番組の放送 ◆滝川市立江陵中学校1年生、滝川市立開西中学校1年生への環境教育授業実施 ◆市内全低学年（1～3年）を対象とした「エコたき日記」の実施 ◆環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用した「COOL CHOICEでエコたき」事業の実施 ◆環境月間時の市立図書館での環境展示並びに「エコたき」、「COOL CHOICE」チラシの配布 ◆滝川商工会議所と連携し、各事業所へポスター・チラシを配布 ◆地元情報誌SORAと連携した啓発記事の掲載 ◆「エコたき」チラシの全世帯配布 ◆子ども達を対象にごみとリサイクルに特化したイベント「エコまつりin美術自然史館」を國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科並びに「エコ部！」が主体となって実施 ◆小学生を対象に「エコたき」をテーマにしたイベント「エコたきまつりin國學院短大」を実施 ◆滝川西高校美術部による「エコたき」普及キャラクターの作製・推進ポスター・チラシの作製と市内イベント等での配布	

イ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) ごみの減量化（リデュース）・分別	情報収集・発信	市 民 事業者	◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などに参加します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆ごみ分別一覧表（A3サイズ）を広報3月で全世帯に配布 ◆ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 ◆ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆市内中学校において、ごみの減量や処理方法についての環境教育授業を実施	【評価】 ◆ごみ減量対策として、ごみの分別を推進し、資源として再利用可能なものについて、1年を通じ回収拠点を設置し、回収量も増加していることを評価するとともに、今後も継続を期待する。 ◆カレンダーリサイクルについて、メイン会場の市役所大会議室前には、例年、開催2時間以上前から多くの人が集まる状況にあり、コロナウイルス感染症予防の観点から開催を中止したことは適切な対応だった。 なお、感染予防を行い、図書館で実施したことを評価する。 【意見】 ◆資源回収は容器が缶からペットボトルへの変更や、容器そのものが薄くなり軽量化されている。 今まで通りの回収数で重量が少なくなっていることは、環境の面から望ましいことである。
		市	◆ホームページやパンフレットなどを利用し、ごみの分別方法や減量化の啓発を行います。 ◆ごみの減量化に必要なごみを出さない生活のあり方についてイベントやホームページなどで啓発します。 ◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などの開催に努めます。		
	排出抑制の取り組み	市 民 事業者	◆マイバッグを利用します。 ◆ものを大切に使うことを基本とし、ごみを出さない生活を心掛けます。 ◆ごみの分別方法を守ります。 ◆簡易包装に努めます。 ◆産業廃棄物と事業系一般廃棄物などの区分を理解し、ごみの分別を守ります。 ◆ごみ減量化の視点から商品開発に努めます。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 ◆ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆広報にて定期的にごみ処理の注意点などを掲載 ◆旧粗大センターで資源ごみ回収を実施（土、日、月の13時～16時） ◆市内のリサイクルショップをホームページ上で周知 ◆通常商品と比較し、安価または同額な場合はリサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入促進を実施 ◆市内4か所の学童クラブに登録している小学校1年生全員を対象にごみの減量とリサイクルに特化したゲームやぬり絵、工作などを「エコ部！」が主体となって実施	◆資源ごみとして回収されておらず、燃やせるごみや燃やせないごみとして出されている資源物を資源回収に誘導する方法を検討いただきたい。 ◆生ごみコンポスト化について、「ダンボールコンポスト」等の取り組みやすい方法のPRを検討いただきたい。 ◆カレンダーリサイクルについて、近年は企業等が作成配布するカレンダーの量が少なくなり、不要カレンダーが持ち込まれる量も数も少なくなっている。 不要カレンダーのリユースにはつながっているが、ごみ減量、リサイクル率向上の観点から、不要カレンダーのみならず使用済みカレンダーを「燃やせるごみ」ではなく、「古紙類」等として、資源回収する取り組みを検討いただきたい。 ◆滝川市リサイクルフェア（フリーマーケット）は同時開催の空知WaiWaiフェスタ及び古本もってけまつりも新型コロナウイルス感染予防のため、開催を見送っており、中止は止むを得ないと考えられる。 今後もリサイクル推進に向けて、実施の方向を検討していただきたい。
2) リユース・リサイクル	リユース・リサイクル	市 民	◆リサイクル製品の購入や中古品の活用など、再利用を心掛けます。 ◆使用済廃食用油・古繊維・不用となった小型家電の拠点回収の利用を心掛けます。	【令和2年度の新たな取り組み実績】 ◆カレンダーリサイクルは新型コロナウイルス感染予防のため市役所大会議室で開催を見送り、図書館で小規模に実施した ◆広報たきかわ令和2年2月号で、ごみの特集を掲載し、ごみ減量、リユースのPRを行った。	【要望】 ◆資源回収は限りある資源の有効活用だけではなく、ごみ減量化にも効果が高いが、回収量が減少傾向にあることから、回収の多くを占める集団資源回収を中心に今後も継続

目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
リ サ イ ク ル		事業者	◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆古紙のリサイクルを推進します。 ◆カレンダーリサイクル事業に協力し、余剰カレンダーを提供します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆資源ごみ回収量(資源回収) 令和2年度 1,922t（拠点回収 88t、集団回収 1,199t 巡回回収 635t） 令和元年度 2,055t（拠点回収 78t、集団回収 1,374t 巡回回収 603t） 平成30年度 2,151t（拠点回収 60t、集団回収 1,433t 巡回回収 658t） 平成29年度 2,376t（拠点回収 66t、集団回収 1,627t 巡回回収 683t） 平成28年度 2,479t（拠点回収 80t、集団回収 1,724t 巡回回収 675t） ◆資源ごみ回収量(資源回収以外) ※平成29年度より生ごみからのバイオガス分を追加 令和2年度 935t（事業系 57t、燃やせないこみ・粗大ごみより 432t、生ごみより 446t） 令和元年度 999t（事業系 64t、燃やせないこみ・粗大ごみより 486t、生ごみより 449t） 平成30年度 1,026t（事業系 64t、燃やせないこみ・粗大ごみより 492t、生ごみより 470t） 平成29年度 1,180t（事業系 74t、燃やせないこみ・粗大ごみより 610t、生ごみより 496t） 平成28年度 879t（事業系 109t、燃やせないこみ・粗大ごみより 629t、生ごみより 141t） ◆リサイクル率の状況 令和2年度 20.1％ 令和元年度 21.2％ 平成30年度 20.6％ 平成29年度 19.6％ 平成28年度 20.7％ ◆平成28、29年度で市民の方から回収した中学校の制服を必要としている希望者へ譲渡した（余剰となった制服は、該当中学校に寄贈し、生徒の着替え等に活用） ◆以下の場所で回収を実施 古紙（旧粗大センター） 古着・古繊維（市役所・旧粗大センター・江部乙支所） 小型家電（市役所・まちづくりセンター・江部乙支所） 使用済廃食用油（市役所・まちづくりセンター、江部乙支所、コミュニティセンター、市内ガソリンスタンド、食堂など） ◆カレンダーリサイクルを市役所大会議室で開催後、会場を図書館に移動し実施 令和元年度 譲渡数 カレンダー 2,077点 手帳 105点 平成30年度 譲渡数 カレンダー 1,709点 手帳 109点 ◆カレンダーリサイクルを市役所大会議室で実施 平成29年度 譲渡数 カレンダー 1,570点 手帳 70点 平成28年度 譲渡数 カレンダー 1,413点 手帳 144点	できる体制をサポートしていただきたい。
		市	◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆使用済廃食用油の回収・古繊維・不用となった小型家電の回収を進めます。 ◆カレンダーリサイクル事業を行います。		

目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
				◆市内中学校の制服を対象とした制服リサイクルの実施に向けて、市民から制服の回収を実施	
	フリーマーケット・リサイクルショップなど	市民	◆フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用します。	【令和2年度の新たな取り組み実績】 ◆滝川市リサイクルフェア（フリーマーケット）は新型コロナウイルス感染予防のため開催を見送った。（同時開催のそらちWaiWaiフェスタ、古本もってけまつりも中止） 【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆滝川市リサイクルフェア（フリーマーケット）の実施 ◆ホームページ上で市内のフリマ情報並びにリサイクルショップ情報の配信を行った ◆広報で毎月不用品データバンク事業を行った	
		事業者	◆フリーマーケットに参加・協力します。		
		市	◆フリーマーケット情報交流事業などの強化など、リユース品の利用促進についての啓発を図ります。 ◆不用品データバンク事業を行います。 ◆リサイクルフェアを開催します。		

ウ 環境美化活動の推進

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) 環境の美化	不法投棄対応	市	◆不法投棄防止の啓発活動や監視体制の強化を図ります。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆不法投棄監視員による市内巡回を実施（毎週月曜日～金曜日） 令和2年度 不法投棄回収量 2,690kg 令和元年度 不法投棄回収量 6,540kg 平成30年度 不法投棄回収量 7,690kg 平成29年度 不法投棄回収量 8,720kg 平成28年度 不法投棄回収量 7,020kg ※不法投棄回収量には「クリーンデー」の回収量を含む。 ◆リサイクル推進員による巡回パトロール、不法投棄の通報等を実施 ◆市民や事業者が、町内清掃・ごみ拾い等を随時実施 ◆たきかわクリーンデー（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けた 実施主体：町内会・事業所・団体・学校等 例年、春と秋の2回実施してたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、春は「たきかわクリーンデー」を設定せず、秋のみ実施した。 令和2年度 66団体 2,358名 令和元年度 213団体 8,810名 平成30年度 238団体 9,899名 平成29年度 255団体 10,284名 平成28年度 244団体 10,562名 ◆クリーンデー取り組み期間のほか、必要に応じ、町内清掃・ごみ拾い等を実施する個人・団体等にボランティア袋を配布 令和2年度 400 1,365袋 200 584袋	【評価】 ◆新型コロナウイルス感染予防のため春の「クリーンデー」の実施を見送ったことは止むを得ないと考えられる。 そのような中、感染予防対策を注意喚起し、秋の「クリーンデー」を実施したことを評価する。 ◆不法投棄監視員による市内巡回など、防止啓発や監視体制の強化により、不法投棄されたごみの減少傾向が続いていることを評価する。 ◆市民のリサイクルに対する意識向上を目的に、街路樹の落ち葉用回収袋をくらし支援課で配布しており、落ち葉とごみを分別していることは、リサイクルだけでなく、ごみ減量化にもつながっていることを評価する。 【要望】 ◆引き続き、警察や町内会など関係機関団体等と連携し、不法投棄防止の啓発や監視体制の強化、たきかわクリーンデーを実施していただきたい。 【意見】 ◆不法投棄やポイ捨てなどを防ぐため、環境美化に対する意識を高め、ボランティア活動を支援する取り組みが必要と思われる。
	ボランティア活動の推進	市民 事業者	◆たきかわクリーンデー（全市一斉清掃）に参加します。 ◆ボランティア袋を活用し、環境の美化に努めます。		
		市	◆たきかわクリーンデー（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けます。 ◆ボランティア袋を配布し、ボランティア活動を支援します。		

				令和元年度	400	3,550袋	200	2,260袋	
				平成30年度	400	1,933袋	200	1,915袋	
				平成29年度	400	5,471袋	200	2,664袋	

地 球 環 境

目標2：エネルギーを大切にし、環境への負荷の少ないまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)

滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量 4,250 k g

省エネモニターのCO2排出量 前年度比の1.0%減

※令和2年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 地球温暖化対策の推進

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) 計画的な地球温暖化対策の推進	地球温暖化対策の実施	市民事業者	◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の知識と理解を深めます。	【令和2年度の新たな取り組み実績】 ◆「環境学習リーダー」及び令和元年度まで國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生及び保育所園児に環境教育を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送った。 【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆滝川市立開西中学校での地球温暖化防止講演会&ワークショップを実施 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆市内外の小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 ◆二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用した地球温暖化防止事業の実施 ◆ホームページを活用した情報発信を実施 ◆「クールビズ」、「ウォームビズ」の推進	【評価】 ◆「環境学習リーダー」等の活動は、次世代を育む若い世代へと、着実に浸透していることを評価する。 ◆町内会等が維持管理する街路灯について、水銀灯やナトリウム灯からの消費電力の少ないLED灯への切り替えに際し、補助金制度を設け、切り替え推進を継続していることを評価する。 ◆再生可能エネルギーについて、生ごみ、下水汚泥、燃やせるごみからエネルギーを回収する取り組みは、CO ₂ 削減につながり、地球温暖化対策として効果が高いことを評価する。 ◆空知自動車学校と連携し、交通ルールを守るだけでなく「急発進・急加速・急ブレーキを避け、適切な車間距離をとる」などを実践する「エコドライブ」について講習を行うことで、「交通安全」のみならず「環境にやさしい」「燃費向上」といった一石三鳥の運転方法を認識してもらうことで、温室効果ガスの削減を目指した活動を継続していることを評価する。 【課題】 ◆地球温暖化を防止するために、温室効果ガスの発生を抑制する必要があり、太陽光発電など自然エネルギーの利用促進やLED照明の普及、エコカーの導入、公共交通機関の利用促進を図ることが求められる。 市民一人ひとりが地球温暖化についての知識を深め、どのような取り組みが必要なのかを考え行動するために、必要な情報の収集に努め、様々な機会を通じて発信していく必要がある。 【意見】 ◆エネルギー問題は重要。広く子供たちの作文、壮年の川柳などでも関心を深める方法もよいと思う。
		市	◆滝川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、市の各施設において省エネルギーに取り組み、地球温暖化対策を率先して進めます。 ◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の発信に努めます。		

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
				◆「ライトダウンキャンペーン」を実施	
2) 省エネルギーの推進	情報収集・発信	市 民 事業者	◆省エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示（水素燃料発電装置搭載）とエコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出展 ◆滝川市立開西中学校での地球温暖化防止講演会&ワークショップを実施 ◆滝川市立開西中学校で行った出前講座において、省エネに詳しい北海道地球温暖化防止活動推進員を招き、体験型ワークショップの実施 ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師である地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆ホームページを活用した情報発信を実施	◆エコドライブのPRをしたら良いのではないかな。
		市	◆省エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。		
	省エネルギーの実践	市 民	◆環境家計簿などを活用した省エネルギーの取り組みを実践します。 ◆照明をはじめ、家電製品などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆公共交通機関の利用に努めます。 ◆エコドライブの実践に努めます。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。		
		事業者	◆照明をはじめ、電気設備などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆環境への負荷の少ない事業活動に努めます。 ◆エコドライブを行います。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。	◆市内公民館の照明をLEDに切替促進 令和2年度 緑地区コミュニティセンター 26基 令和元年度 三世代交流センター北地区分館ほか 33基 平成30年度 東滝川地区転作研修センターほか 39基 平成29年度 緑地区コミュニティセンターほか 36基 平成28年度 扇町コミュニティセンターほか 15基 ◆補助金を町内会に支出し、町内会等が維持管理する街路灯をLEDに切替促進市内街路灯のLED化推進 （令和2年度からは新たにLEDからLEDの更新を補助対象に加えた）	

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和２年度実績に対する委員からのコメント
			◆省エネルギーや温暖化対策の推進に取り組みます。 ◆環境省などによる省エネルギー診断などを利用した取り組みを検討します。 ◆環境省が策定した事業者向けのＣＯ ₂ 排出削減対策への参加を検討します。	令和２年度 新設56灯 切替35灯 更新322灯 計423灯 LED化率76.84% 令和元年度 新設37灯 切替438灯 計475灯 LED化率70.39% 平成30年度 新設30灯 切替454灯 計484灯 LED化率62.39% 平成29年度 新設 6灯 切替452灯 計458灯 LED化率54.42% 平成28年度 新設35灯 切替665灯 計700灯 LED化率45.12%	
		市	◆環境家計簿を作成し、市民への普及に努めます。 ◆道路環境の整備や公共交通機関の確保に努めます。 ◆エコドライブに関する情報の提供に努めます。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入や普及に努めます。 ◆町内会などが維持管理する街路灯のＬＥＤ切替促進に努めます。 ◆公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るための省エネルギー化を含む計画的な修繕に努めます。 ◆環境省が策定した事業者向けのCO ₂ 削減対策について、情報提供に努めます。	◆「エコ部！」主催のイベント「エコたきまつりin國學院短大」において、小学校２年生を対象に北海道電力の講師がゲームやクイズを行い省エネについて学ぶ省エネ講座を実施	
3) 再生可能エネルギーの利用促進	情報収集・発信	市 民 事業者	◆再生可能エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載	
		市	◆再生可能エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。 ◆廃棄物処理施設における発電その他公共施設における再生可能エネルギー活用事例などの情報提供に努めます。	◆市内公共施設に設置した太陽光パネルの発電量をホームページに掲載	
	再生可能エネルギーの導入	市 民	◆再生可能エネルギーについての情報収集・学習に取り組み、再生可能エネルギーの導入を検討します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆生ごみによるメタンガス発電（滝川市相当分） … 中空知衛生施設組合リサイクル 令和２年度 発電量 690,176kwh ボイラー使用ガス量 11,092m ³ 令和元年度 発電量 712,815kwh ボイラー使用ガス量 22,357m ³ 平成30年度 発電量 688,600kwh ボイラー使用ガス量 34,304m ³	
		事業者	◆再生可能エネルギーの導入を検討します。		
		市	◆再生可能エネルギーの導入を検討するとともに普及・啓発に努めます。		

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
			◆バイオマスなど未利用の自然エネルギーなどの活用を検討します。 ◆駅前広場に、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを導入します。	平成29年度 発電量 706,737kwh ボイラー使用ガス量 33,665m³ 平成28年度 発電量 702,861kwh ボイラー使用ガス量 35,518m³ ◆下水道の汚水によるメタンガス発電（滝川市相当分） … 石狩川流域下水道奈井江浄化センター 令和2年度 発電量 649,480kwh 令和元年度 発電量 478,240kwh 平成30年度 発電量 649,850kwh 平成29年度 発電量 660,100kwh 平成28年度 発電量 648,800kwh ◆可燃ごみ焼却による発電（滝川市相当分） … 中・北空知廃棄物処理広域連合エネクリーン 令和2年度 発電量 3,972,804kwh 令和元年度 発電量 4,110,918kwh 平成30年度 発電量 2,588,434kwh 平成29年度 発電量 2,599,449kwh 平成28年度 発電量 2,439,644kwh ◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆㈱IHI環境エンジニアリング・IKE、ラサ工業㈱と共同研究協定の締結を結び、利用度の低い籾殻を燃料として活用する燃焼試験を実施 ◆駅前広場の整備工事開始（小型風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場を設置 ※平成29年度より本格始動	

イ その他の地球環境問題への対応

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) PM2.5・フロンガスなどの情報収集・提供	情報収集・提供	市	◆PM2.5やフロンガスなどの地球環境問題について、国や北海道からの情報収集に努めるとともに、ホームページやコミュニティFMなどで必要な情報を市民に周知します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆滝川市ホームページに「PM2.5発生情報」を新設し、北海道や環境省が管理・発信している情報を市民へ提供	【評価】 ◆継続的な情報提供を評価する

自然環境・農業

目標3：身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)

エコネット登録団体の自然保護活動参加人数 計画期間累計 8,700人

農業体験授業（事業）の実施校数 計画期間累計 150校

※令和2年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 身近な自然環境の保全と活用

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) 豊かな自然資源の情報発信	丸加高原や菜の花畑などの豊かな自然環境のPR	市民 事業者 市	◆滝川市の豊かな自然について、SNSや広報・ホームページ・イベントなどを通じて、全国に向けてPRをします。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆広報、ホームページ、Facebook等を活用した、イベントやキャンプ場情報周知 ◆丸加高原で採取した木の実や枝を活用した工作体験の実施 ◆地域おこし協力隊による自然体験イベントや子どもキャンプの実施	【評価】 ◆滝川公園、丸加山、菜の花畑、河川敷等、イチョウ並木などの美しい街づくりなど豊かな自然環境を広報等でPRに努めていることを評価する。 【課題】 ◆滝川市には石狩川と空知川の2大河川が流れ、まちに帯状の自然景観を生み出し、菜の花畑などの美しい農村景観も形成されており、身近な自然を学ぶことができる環境が整っている。 これらの自然環境の保全を図るためには、身近な自然を学び、理解を深め、その関心を高めていくことが求められることから、豊かな自然を活用した学習の機会の提供や人材の育成が必要である。 引き続き、関係機関団体と連携し、広報、ホームページ等を活用したPRを継続的にを行うことを期待する。
2) 豊かな自然資源の活用と保全	街路樹・公園の適正な維持管理	市民 事業者	◆街路樹・公園の樹木などを維持するためのボランティア活動に参加し、自然環境への関心を深めます。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆公園改修の実施	
		市	◆公園の適切な維持修繕に努め、利用者の安全確保に努めます。 ◆街路樹の適正管理に努めます。	◆公園の草刈等維持管理の実施 ◆街路樹の剪定業務の実施	
	良好な水辺環境の保全	市民 事業者	◆川づくり活動に参加し、自然環境への関心を高めます。 ◆石狩川クリーンアップ作戦の参加など、河川の環境維持に協力します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆石狩川クリーンアップ作戦への参加 ◆ボランティアによる石狩川再生の森（石狩川周辺の草刈り、森林の管理など）の実施	
		市	◆河川への不法投棄の監視など河川の環境保全に努めます。		
	自然体験など学習の提供	市民	◆自然体験や自然観察会などの取り組みに参加し自然環境への関心を高めます。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆エコネット登録団体による自然体験や自然観察会の開催時に職員がサポートを行った	
		市	◆自然体験や自然観察会などの開催及び情報提供などに努めます。	◆自然体験や観察会実施などの事前周知をホームページ上で行った	

イ 豊かな農業環境の保全と活用

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) 環境にやさしい農業や地産地消などの推進	減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の普及・啓発	市民	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の理解を深めます。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆生産者のほ場等での田植え・稲刈り等の農業体験を通じ、環境保全型農業の取り組みへの理解を深めた	【評価】 ◆環境保全型農業や農業体験、地産地消について関係機関団体と連携し、推進していることを評価する。
		事業者	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業に取り組みます。 ◆用排水路など地域の共同管理している箇所環境の維持に努めます。	◆減化学合成農薬・減化学肥料による農産物（米・野菜）の生産を行った	【課題】 ◆環境にやさしい農業の促進は自然環境の保全につながることから、それを支える取り組みが大切であり、理解や関心を高めてもらうため、引き続き農業体験の充実や地元農畜産物を活用した食育・地産地消の推進が必要である。
		市	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の情報提供や支援に努めます。	◆減化学合成農薬・減化学肥料などによる環境保全型農業による生産を行った生産者に対し交付金による支援を行った	「安全な食」の宝庫である滝川市であるが、その分野での認

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和２年度実績に対する委員からのコメント
	地産地消の推進	市 民	◆地元農畜産物の積極的な購入や中食・外食においては地産地消認定店の活用や地元農畜産物を活用したメニューを選ぶなど地産地消を推進します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆そらちワイン×ワインFestaで滝川の食の魅力を発信 ◆たきかわ地産地消認定店ガイドブック及び滝川地産地消協議会フェイスブックによる地産地消メニュー情報の発信 ◆たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデンの開催（地産地消認定店の出店） ◆年６回市内小学校で市内生産者による農作物の授業及び交流給食 ◆ちよつ蔵まつり、道の駅たきかわ大収穫祭、たきかわ農業まつりにおける新米PR活動の実施 ◆広報たきかわにおける地産地消特集の掲載	知度が高いとは言えない。 引き続き、関係各課、機関団体等と連携し、目標達成に向けた取り組みを継続的に行うことを期待する。
		事業者	◆地元農畜産物を活用したメニュー提供やレシピのPRなどを行い、普及に努めます。		
		市	◆地産地消の給食の実施に努めます。 ◆地元農畜産物のPRに努めます。		
	食育の推進	市 民	◆日常生活の中で健全な食生活の維持に努め、食を通じて自然の恩恵に対する理解を深めます。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆第３次食育推進行動計画の策定 ◆11月24日の「いい日本食の日」にちなみ、町内会の班回覧を通じて和食の普及啓発を実施 ◆「滝川おもしろ食育塾」での稲作体験と調理実習 ◆生活習慣病予防料理教室 ◆料理づくりのつどい ◆滝川市食育推進市民会議の開催 ◆滝川市食育推進市民会議専門部会の開催 ◆第３次食育推進行動計画策定に向けた策定ワーキングの開催	
		事業者	◆食育に必要な地元農畜産物や場の提供に努めます。		
		市	◆食育を実践するため、行政機関や関係団体、事業者などと連携調整に努めます。		
2) 農 業 とのふれあいの場の提供・確保	農業体験の普及啓発	市 民	◆農業体験などの事業に参加します。 ◆市民農園などを活用します。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆「そらちDEいいね」を介した農業体験受け入れ事業の実施 ◆学校において、授業の一環として野菜などの栽培を実施した。 ◆JA青年部やとんぼの会が実施する農業体験学習等に参加した ◆市民農園などを活用した、家庭菜園づくりにより農業に親しんだ ◆滝川緑の少年団員を募集し、緑の募金活動、不法投棄の清掃、植樹、川下り、稲刈り、脱穀などの農業体験を行った ◆広報やホームページで市民農園に関する情報提供を行い、市民の利用を促進した	
		事業者	◆農地見学などを受け入れることができる体制の整備を行います。 ◆農業体験学習の講師として行政などに協力します。 ◆体験農園などの企画・運営を行政などと協力して行います。		
		市	◆農業体験学習を実施します。 ◆市民農園などの情報提供を行い、市民の		

第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画 評価シート（案）

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
			利用を促進します。	◆JAたきかわや行政が協力し、市民農園の運営を行った	

環境コミュニティ

目標4：みんなが学び、共有することによる環境保全の環（わ）が広がるまち

令和7年3月末 達成目標(改訂前)

環境学習リーダーの人数 第1次計画からの累計 350人

環境市民大会における参加者の平均評価点 85点以上

※令和2年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 環境に関する情報の発信と共有

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) 情報の提供と共有	地域における環境活動の取り組み状況などの情報収集や情報提供	市民	◆たきかわエコネットに登録した団体などの取り組み状況への関心を深めます。	【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆企業がボランティア活動を行う団体に支援を行っている活動に、環境学習リーダー活動や環境保全活動行う団体を推薦し活動を支援した。 ◆「エコ部！」の指導をエコネット登録団体に依頼し、連携強化を図った ◆ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載した ◆事業者向けの情報もホームページ上に掲載し周知を行った ◆年次報告書を作成・ホームページ上で公表した	【評価】 ◆年次報告書の発行、環境保全活動団体の支援等を継続していることを評価する。 【課題】 ◆引き続き、エコネット登録団体との連携強化、ホームページや広報等を活用した登録団体のPR等を行い、各団体との結びつき強化を期待する。
		事業者	◆環境に関する事業の実施・情報提供を行います。		
		市	◆環境基本計画に基づき実施された状況を明らかにするために年次報告書を作成し、公表します。 ◆各環境団体にたきかわエコネットへの登録を促し、それらの環境活動の情報を発信し共有することで、活動への参加を促進します。 ◆たきかわエコネットに登録した団体などを支援し、それらの結びつきを強め、活動の活性化につなげます。		

イ 環境教育の充実

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
1) 環境学習・環境保全活動の促進	環境学習・環境保全活動に関するイベントの実施	市民	◆環境学習・環境保全活動に関するイベントに参加します。 ◆環境に配慮した行動を実践できるよう、学習し、理解を深めるとともに学んだことから自発的な興味・関心を広げます。	【令和2年度の新たな取り組み実績】 ◆「環境学習リーダー」及び令和元年度まで國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生及び保育所園児に環境教育を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送った。 ◆滝川高校と連携し、環境市民大会「環境シンポジウムin滝川高校」を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送った。 【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示（水素燃料発電装置搭載）とエコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出展 ◆「環境シンポジウムin開西中学校」を実施 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、	【評価】 ◆新型コロナウイルス感染予防のため、環境市民大会「環境シンポジウムin滝川高校」の実施を見送ったことは止むを得ないと考えられる。 環境省の補助事業を活用し、環境市民大会開催してきた経過があるが、補助事業終了後も滝川市独自で取り組みを進めていたことを評価する。 【課題】 ◆関係機関との調整・打ち合わせを行い、環境教育やエコドライブ普及促進活動が、行政主体から短大・高校・企業主体へとスムーズに移行できるように準備していく必要がある。 ◆環境学習リーダーの養成については、育成したリーダーが活動する機会を充実させ、活躍できる場や仕組みづくりを進めていくことが必要。
		事業者	◆事業所を環境学習の見学の場として提供するなど環境学習の取り組みの支援・協力を行います。		
		市	◆環境市民大会を開催し、環境に関する情報提供に努めます。 ◆環境学習・環境保全活動に関するイベントの開催に当たっては、市内の実践者などの人材に協力を求めます。		

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
				「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会で、エコドライブの講習会を実施 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした ◆空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会の実施並びにエコドライブに特化したメールマガジンの配信 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆滝川高校と連携し、環境市民大会「環境シンポジウムin滝川高校」を実施 ◆市内外の小学生を対象に、北海道滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 ◆教育委員会と連携し、市内全小学生を対象に夏休みと冬休みに「エコたき」日記を配布、休み明けには児童が塗った「エコたきくん」ぬり絵を図書館に展示するとともに併せてウォームビズの啓発展示を実施 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部!」の指導をエコネット登録団体、空知教育センター、地域おこし協力隊等に依頼し、連携強化に努めた。 ◆エコ部!と國學院大學北海道短期大学部が協働で、未就学児並びに小学生を対象に、リサイクルやエネルギー等に特化した環境学習イベントを主催し、市民が参加した。 ◆マリアージュ イン ベルコにおいて環境市民大会を開催 ◆滝川高校生徒への地球温暖化ワークショップの実施	
	次世代エネルギーパークの活用	市 民	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習に参加します。	【平成28年度からの取り組み実績】 ◆北広島市市民団体（エコ・パートナーシップ北広島）の視察対応を行った ◆富良野市市民団体の視察対応を行った	
		事業者	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習への協力を行います。		
		市	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習を行います。		

項目	取り組み	主体	取り組み（行動）内容	平成28年度からの実績（取り組み）	令和2年度実績に対する委員からのコメント
	環境学習リーダーの育成	市 民	◆環境学習リーダー養成講座を受講し、環境についての知識を習得します。	【令和2年度の新たな取り組み実績】 ◆「環境学習リーダー」及び令和元年度まで國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が保育所園児及び小学生に環境教育を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送った。 【平成28年度からの取り組み実績（単年度の取り組みを含む）】 ◆滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施 ◆國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生並びにスプリングフィールド大学短期留学生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、（公財）北海道環境財団の講師による地球温暖化防止の専門講座を受講した後、西地区児童センター、東地区児童センターで環境教室を実施 ◆「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」、「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 ◆市内3つの高校から、環境学習リーダー養成講座に参加にする有志を募り勉強会やイベント等をとおしたリーダーの育成を実施 ◆市立図書館主催の夏休み「調べる学習コンテスト」に参加し、「エコ部!」が夏休みに実施した特別イベントをとおして、子ども達が「地球温暖化」について、調べ・まとめる機会を提供 ◆児童センターで地球温暖化防止に特化した環境授業を実施 ◆國學院大學北海道短期大学部舂井ゼミ、まちつく6、「エコ部!」が協働で実施した食育イベントにおいて、市内稲作農家にご協力いただき、環境保全活動や稲作栽培についてのワークショップに参加した後、道の駅で「米」をテーマにしたイベントを実施	
		事業者	◆環境学習リーダー養成のため事業者が保有している環境情報や実践している環境保全活動について、情報提供を行い、身近な環境学習の創出に協力します。		
		市	◆環境学習リーダー養成講座を継続し、リーダーの育成を推進します。 ◆高校生ボランティアチーム「エコ部!」の活動の検証を行い、次世代リーダーの養成につなげます。		